

科目名	施設園芸 I			開講時期	1年生 後期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力			時間数	15 時間	
担当者名	宮崎隆平、農業技術研究室			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)施設園芸に係る建物施設の構造・管理方法や各種園芸資材等の特性・使用方法、環境制御法に関する学習					
身に付ける力	(1)施設園芸を実践する上での基礎的知識					
到達目標	(1)施設園芸のメリット・デメリット、使用済みプラスチックの適正処理を理解する。 (2)施設の基本構造及び主要資材の基礎知識を理解する。 (3)冬期加温施設における省エネルギー対策、環境要因及び制御技術を理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	施設園芸の概要、メリット・デメリット		2	宮崎隆平	
	2	施設の種類と形式		1	宮崎隆平	
	3	被覆資材の機能と特性		1	宮崎隆平	
	4	マルチ、べたがけ資材の特徴		2	宮崎隆平	
	5	農業用使用済みプラスチックの適正処理		3	宮崎隆平	
	6	施設内環境の特性と制御、光制御		1	奥川滉毅、▽田棕平、宮崎隆平	
	7	保温の原理		1	奥川滉毅、▽田棕平、宮崎隆平	
	8	温度、二酸化炭素の管理		1	奥川滉毅、▽田棕平、宮崎隆平	
	9	施設見学		2	奥川滉毅、▽田棕平、宮崎隆平	
	10	定期考査		1	宮崎隆平	
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点：「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(野菜)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名	貞光優樹、小林和真、山本将義			単位数	4 単位	
科目の概要	(1)主要野菜の生理生態に関する学習 (2)野菜生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3)野菜流通・販売の現状に関する学習					
身に付ける力	(1)主要野菜の栽培に関する基礎知識・技術 (2)野菜流通・販売に関する基礎知識					
到達目標	(1)主要野菜の生理生態と栽培管理方法の習得 (2)基礎的な施設管理方法の習得 (3)野菜流通・販売の現状を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	ナス科主要野菜の生理生態と栽培管理		7	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	2	ウリ科主要野菜の生理生態と栽培管理		7	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	3	アブラナ科主要野菜の生理生態と栽培管理		7	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	4	イチゴの生理生態と栽培管理		7	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	5	土地利用型野菜の生理生態と栽培管理		7	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	6	ハウレンソウ等葉物類の生理生態と栽培管理		6	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	7	その他県内特産野菜品目(わさび、れんこん等)の生理生態と栽培管理		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	8	気象災害対策(台風、凍結防止等)		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	9	施肥設計と農薬計算		8	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	10	野菜流通の現状と課題		2	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	11	定期考査		1	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	60	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(野菜)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	240 時間	
担当者名	貞光優樹、小林和真、山本将義			単位数	12 単位	
科目の概要	(1)主要野菜の生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調製技術、販売に関する学修					
身に付ける力	(1)主要野菜の栽培管理や出荷調製・販売に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)主要野菜の生産・販売に必要な基礎知識・技術の習得					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	栽培計画の作成		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	2	土壌分析と施肥設計		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	3	ほ場準備(土づくり、土壌消毒、灌水装置の設置)		30	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	4	主要野菜の栽培管理と出荷調製・販売		182	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	5	栽培実績の作成		20	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	20
	授業・実習態度	思・判・表、態度	80	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(野菜)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	630 時間	
担当者名	貞光優樹、小林和真、山本将義			単位数	21 単位	
科目の概要	(1)選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習					
身に付ける力	(1)選定した品目の栽培管理や出荷調製に関する基礎知識・技術 (2)選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成		4	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	3	生産プロジェクトの実施		600	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	4	中間検討		2	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	5	生産プロジェクト報告書作成		20	貞光優樹、小林和真、山本将義	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(花き)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名	山内健、宮崎隆平			単位数	4 単位	
科目の概要	(1)主要花きの生理生態に関する学習 (2)花き生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3)花き流通の現状に関する学習					
身に付ける力	(1)主要花きの栽培に関する基礎知識・技術 (2)花き流通に関する基礎知識					
到達目標	(1)主要花きの生理生態と栽培管理方法の習得 (2)基礎的な施設管理方法の習得 (3)花き流通の現状を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	主要花き(宿根草類)の生理生態と栽培管理		12	山内健、宮崎隆平	
	2	主要花き(一年草類)の生理生態と栽培管理		12	山内健、宮崎隆平	
	3	主要花き(球根類)の生理生態と栽培管理		12	山内健、宮崎隆平	
	4	主要花き(苗鉢もの類)の生理生態と栽培管理		10	山内健、宮崎隆平	
	5	施肥設計と農薬計算		11	山内健、宮崎隆平	
	6	花き流通の現状と課題		2	山内健、宮崎隆平	
	7	定期考査		1	山内健、宮崎隆平	
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(花き)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	240 時間	
担当者名	山内健、宮崎隆平			単位数	12 単位	
科目の概要	(1)主要花きの生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修					
身に付ける力	(1)主要花きの栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)主要花きの生産に必要な基礎知識・技術の習得					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	栽培計画の作成		2	山内健、宮崎隆平	
	2	土壌分析と施肥設計		5	山内健、宮崎隆平	
	3	ほ場準備(土づくり、土壌消毒、灌水装置の設置)		50	山内健、宮崎隆平	
	4	主要花きの栽培管理と出荷調整		170	山内健、宮崎隆平	
	5	栽培実績の作成		13	山内健、宮崎隆平	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(花き)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	630 時間	
担当者名	山内健、宮崎隆平			単位数	21 単位	
科目の概要	(1)選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売に関する学習					
身に付ける力	(1)選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 (2)選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定		2	宮崎隆平、山内健	
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成		10	宮崎隆平、山内健	
	3	生産プロジェクトの実施		586	宮崎隆平、山内健	
	4	中間検討		2	宮崎隆平、山内健	
	5	生産プロジェクト報告書作成		30	宮崎隆平、山内健	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論(果樹)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名	兼常康彦、佐々木万紀子			単位数	4 単位	
科目の概要	(1)主要果樹の生理生態に関する学習 (2)果樹生産に係る栽培管理方法に関する学習 (3)果樹流通の現状に関する学習					
身に付ける力	(1)主要果樹の栽培に関する基礎知識・技術 (2)果樹流通に関する基礎知識					
到達目標	(1)主要果樹の生理生態と栽培管理方法の習得 (2)果樹流通の現状を理解する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	果樹用具の使用法		2	兼常康彦、佐々木万紀子	
	2	農薬の基礎知識と使用法		6	兼常康彦、佐々木万紀子	
	3	果樹栽培の基礎(結果習性、整枝・せん定、品種更新等)		8	兼常康彦、佐々木万紀子	
	4	落葉果樹の生育と栽培管理(ブドウ、ナシ、クリ、ウメ)		12	兼常康彦、佐々木万紀子	
	5	常緑果樹の生育と栽培管理(カンキツ、ビワ)		6	兼常康彦、佐々木万紀子	
	6	果樹で使用する農業機械の基礎知識と技術		6	兼常康彦、佐々木万紀子	
	7	果樹における土壌・施肥管理の基礎		6	兼常康彦、佐々木万紀子	
	8	果樹における気象災害と対策		4	兼常康彦、佐々木万紀子	
	9	施肥・農薬に関する計算		4	兼常康彦、佐々木万紀子	
	10	果樹の生産・流通の現状と課題		2	兼常康彦、佐々木万紀子	
	11	各論のまとめ		3	兼常康彦、佐々木万紀子	
	12	定期考査		1	兼常康彦、佐々木万紀子	
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	60	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習(果樹)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	240 時間	
担当者名	兼常康彦、佐々木万紀子			単位数	12 単位	
科目の概要	(1)主要果樹の生産に必要な栽培計画、ほ場管理、栽培技術、出荷調整技術の学修					
身に付ける力	(1)主要果樹の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)主要果樹の生産に必要な基礎知識・技術の習得					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	主要果樹(ブドウ、ナシ、カンキツ類など)の栽培管理		175	兼常康彦、佐々木万紀子	
	2	(1)整枝・せん定				
	3	(2)着果管理				
	4	(3)新梢管理				
	5	(4)防除				
	6	(5)施肥				
	7	(6)土壌改良・かん水				
	8	(7)苗木の植付				
	9	(8)その他(人工受粉、ジベレリン処理、マルチ被覆など)				
	10	主要果樹の出荷調整、販売方法の検討・実践		50	兼常康彦、佐々木万紀子	
	11	主要果樹の栽培実績の取りまとめ、次年度の計画作成		15	兼常康彦、佐々木万紀子	
	12					
	13					
14						
テキスト・副教材	山口県果樹栽培指導指針、講師作成のプリント					
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	
	定期考査				実技テスト	
	レポート				発表・成果物	
	授業・実習態度		思・判・表、態度	100	研修評価	
観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度						

科目名	生産プロジェクト実習(果樹)			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	630 時間	
担当者名	佐々木万紀子、兼常康彦			単位数	21 単位	
科目の概要	(1)選定した品目に係る生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習					
身に付ける力	(1)選定した品目の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術 (2)選定した品目に係る課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)選定した品目の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定		8	佐々木万紀子、兼常康彦	
	2	生産プロジェクトの設計書作成		8	佐々木万紀子、兼常康彦	
	3	生産プロジェクトの実施		584	佐々木万紀子、兼常康彦	
	4	中間検討		10	佐々木万紀子、兼常康彦	
	5	生産プロジェクト報告書作成		20	佐々木万紀子、兼常康彦	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	施設園芸Ⅱ			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術の習得			時間数	15 時間	
担当者名	山本将義、農業技術研究室			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)講義、実技を通じたパイプハウス建設に関する学習					
身に付ける力	(1)パイプハウス建設に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)パイプハウス建設に係る構造・部機材・順番・ポイント等を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法		時間数	講師	
	1	パイプハウスの構造		2	山本将義	
	2	使用部品と機材の安全な使用方法		2	山本将義	
	3	建設の手順、注意点		2	山本将義	
	4	ドア設置、裾・片・サイド被覆		2	山本将義	
	5	ハウス固定抗設置、天井ビニール被覆		2	山本将義	
	6	ハウス被覆資材について		1	山本将義	
	7	パイプハウスにおける気象災害		1	山本将義	
	8	強度向上とメンテナンスのポイント		2	茗荷谷紀文	
	9	定期考査		1	山本将義	
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	営農計画			開講時期	2年生 前期		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間		
担当者名	佐々木万紀子、経営高度化研究室			単位数	1 単位		
科目の概要	(1)就農・就業に向けた手順や留意点等に係る学修 (2)営農計画に係る基礎知識の学修						
身に付ける力	(1)就農・就業に向けた手順や留意点等に係る基礎知識 (2)営農計画に係る基礎知識						
到達目標	(1)就農に必要な心構えや留意点を理解する。 (2)就農計画の作成に必要な基礎知識を理解する。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	自営就農と法人就業の手順、違い、留意点			1	佐々木万紀子	
	2	園芸主要品目の構造分析表、小テスト			4	佐々木万紀子	
	3	資金調達計画の概要			1	佐々木万紀子	
	4	借入金償還、小テスト			3	尾崎篤史	
	5	減価償却費、小テスト			3	尾崎篤史	
	6	労働時間、資金調達計画			2	尾崎篤史	
	7	定期考査			1	佐々木万紀子	
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材	「農業するなら山口県！」(やまぐち農林振興公社)						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査	知・技、思・判・表	80	実技テスト			
	レポート	知・技、思・判・表	10	発表・成果物			
	授業・実習態度	態	10	研修評価			

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度